

華

精華女子高等学校同窓会
第十一号
題字 創設者 吉田マツ先生

ご挨拶

理事長 吉田 幸滋



明治四十二年、初代理事長吉田マツにより創設されました本学園

は、令和三年度に創立百十三年目を迎えることとなりました。これも偏に同窓会会長の萬昭子様をはじめ同窓会の皆様方より日頃から厚く御支援頂いておりますお蔭と、衷心より感謝申し上げます次第です。

今春、高校からは三百八十六名、看護専攻科からは三十三名の卒業生を送り出しました。女塾以来の卒業生総数は三万三千六百三十五名となりました。

昨年より蔓延し始めた新型コロナウイルスですが、未だに猖獗を極めております。この影響を受けて昨年の卒業式は予定を早めることになったり、緊急事態宣言発出に伴い入学式の日が遅れることになったりと大きな影響を受ける年となりました。一方、明るいお知らせもございます。御礼と共に御報告致します。

ます。予てよりお伝えしておりました「住吉グラウンド」の整備が今春完了し、体育の授業や部活動に充分に活用出来るようになりました。それに伴い新しく「北正門」を造りました。

また貴同窓会より、その北正門の近くに二種類の桜の樹を寄贈して頂きました。早速、その校は毎日の生徒達の登下校の姿を優しく見守っています。グラウンド整備と共に本館に直結する三階建ての「別館」も同時に竣工致しました。そこへも同窓会より生徒用ロッカーやプロジェクターセットを寄贈頂きました。重ねて御礼申し上げます。

結びに、本学教職員は建学の精神である「仏教教育に基づく人格教育」を真摯に継続して参りますこととお誓い申し上げます。同窓会の皆様におかれましては、今後とも未永く本学園をお見守り下さいますようお願い申し上げます。



住吉グラウンド オープン



ご挨拶

校長 荒木 裕幸



同窓会の皆様には、日頃から母校の教育振興・充実発展と在校生の激励のために特段のご支援、ご協力を賜っておりますこと、心からお礼申し上げます。

精華女子高等学校は今年創立百十三年目を迎えています。百十周年記念事業として取得した旧住吉小学校跡地のグラウンドもすっかり整備され、精華女子高等学校住吉グラウンドとしてその姿を現しています。また、新築された別館も瀟洒な姿を見せています。令和三年二月三日には竣工式も終了し、四月からは新設された北正門を通って、生徒諸君は登校しています。

グラウンド並びに別館の完成に伴って精華女子高等学校など同窓会の皆様から沢山の記念の品を頂きました。別館には生徒の皆さんが日々利用するスクールロッカー、そして二階の多目的室に設置されたプロジェクター、更には令和二年十二月五日には植樹式を実施して頂き、校庭に二本の桜の苗木(ソメイヨシノ・八重桜)を植樹して頂きました。同窓生の皆様の後輩並びに母校を思うお気持ちに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年度はコロナ禍の中、長期の休業期間もあり決して十分な満足の行く教育活動が実施できたわけではありませんが、第七十二回卒業生の皆さん良く頑張ってくれま

した。進学等の状況は次の通りです。四年制大学一四六名、短期大学一三九名、専門学校一二二名(数字はいずれも延べ数)、また就職では三二名の皆さんが合格を果たしています。令和二年度は進学・就職とも希望者の決定率一〇〇%(進学は二年連続・就職は十二年連続)の実績を残すことができています。製菓衛生師の国家試験は受験した三四名全員が合格(十年連続)。看護専攻科では看護師国家試験を二七名が受験し二六名が合格しました。今年是非一〇〇%を目指したいものです。

令和二年度の部活動は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、多くの大会が中止となりました。開催された数少ない全国大会の中で、バスケットボール部は十二月に行われました第七十三回全国高等学校バスケットボール選手権大会(ウィンターカップ)に福岡県代表として、一昨年度に続き五回目の出場を果たしました。ダンス部では映像での審査でしたが地区の大会を突破し、第十回全日本高等学校チームダンス選手権大会に出場しています。その他の部活動もコロナ禍の影響で満足な練習は出来ていませんが、まずは県大会を目指し、日々鍛錬を重ねているところです。同窓会誌が発行されるに当たり、学校の近況をご報告させて頂きました。最後になりましたが、精華なでしこ会の皆様のご健勝、ご活躍をお祈りし、ご挨拶とさせて頂きます。

ご挨拶

同窓会会長 萬 昭子



母校が百年をを迎え、その記念事業の一つとして旧住吉小学校

跡地のグラウンドを取得出来た事、同窓生一同心より喜び申し上げます。

その記念として、私達同窓会より、別館には生徒全員のロッカー、プロジェクト設備、また正門の横には、桜（ソメイヨシノ・八重桜）の苗木を寄贈。令和二年十二月五日の植樹式に旧役員の皆様と参加させて頂きました。

ここに報告致します。桜は、今春初めてきれいな花を咲かせ、生徒達に微笑みかけてくれた事と思います。

さて、皆様が楽しみにされていた「同窓会懇親会」ですが、新型コロナウイルス感染症拡大により、皆様の安全・安心を第一に考えて残念ではありますが延期することに致しました事をご理解頂きますようお願い申し上げます。

コロナが終息し安心して皆様にお会いできる日を楽しみにしております。

Check!!



同窓会のQRコードが出来ました！
ケイタイで読み込むと同窓会のHPに飛びます！

プロジェクター(2階:多目的室内)▶

▼スクールロッカー



別館へ寄贈いたしました



▲八重桜



▲ソメイヨシノ

愛を込めて音楽を

吹奏楽部 副顧問 小川 佑佳

これは昨年度卒業した三年生が決めたテーマだ。このテーマの裏側には、吹奏楽部百四十八名の苦悩そして喜びがあった。二〇二〇年三月二日、福岡県からの通達があり急遽一斉休校になった。この時はまだ、生徒たちを待ち受ける困難を想像もできていなかった。部活動が再開する予定だった四月一日、私は部員たちに部活動停止の延期を発表した。生徒たちは一様に、驚きと悲しみ、そして悔しさを表情に滲ませていた。しかし、

生徒たちはすぐに自宅でできることを探し始めていた。楽器や楽譜を持ち帰り練習をする生徒もいた。演奏の動画を撮影し、顧問や外部指導者にアドバイスを求める生徒もいた。四月二十三日、大阪明星高校・北海道の遠軽高校と一緒にテレワーク演奏をする話が持ち上がった。生徒たちは、自宅で演奏し、踊り、歌い、工夫を凝らして一つの動画を完成させた。それは五月六日に「全国縦断テレワーク演奏」という作品となり、全国に勇気と希望を届けることになった。



二月の第三十七回定期演奏会に向けた練習ではいつもと違う緊張感が漂っていた。もし感染が拡大したらすぐに演奏会が中止になるかもしれない、例年に比べて合奏練習が不足しているなど、生徒は口々に不安を漏らしていた。しかし生徒たちは地道な努力と日ごろの成果を発揮し、演奏会を成功させた。お客様から沢山の拍手をもらう生徒の表情は幸せいっぱい、涙を流している生徒もいた。コロナウイルスの影響で、イベントだけではなくコンクールまでもが中止になった。生徒たちはそこで、音楽を続ける意味を立ち止まって考えていたように思

う。今までの当たり前が、決して当たり前ではなかったことに気づいた。だからこそ、音楽ができる喜びを誰よりも実感し、演奏することができた。たくさん苦しんだ分、愛を込めて音楽と向き合っていた。

金賞受賞!!

おめでとう
ございます!

特報!! 第69回全日本吹奏楽コンクール

名古屋国際会議場で10月24日に開催された第69回全日本吹奏楽コンクール(全日本吹奏楽連盟、朝日新聞社主催)の高校の部で、金賞受賞!

自由曲:
「巨人の肩にのって」(グラハム)

体育部の活動

その1

今回、バスケットボール部・バドミントン部・ソフトボール部の紹介をします。

バスケットボール部

顧問 大上 晴司

日頃よりバスケットボール部へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本年度は総勢四十名で活動しており、皆厳しい練習にも意欲的に取り組み、体育館にはいつも元気な声と笑顔が絶えません。雰囲気の良いと、仲の良さがチームの自慢です。

近年、コンスタントにインターハイ・ウィンターカップへ出場することが出来ておりますが惜しくも今年度はインターハイの出場を逃し、目下、年末に実施されるウィンターカップへの出場を目指し、練習に励んでおります。この夏開催された東京オリンピックにバスケットボールOGとして初の出場を果たし五輪初の銀メダルに大きく貢献した林咲希さん（平成二十四年卒業）の存在も我々の誇りでもあり、大きな励みとなりました。

予選を勝ち抜き十一月には良い報告ができるようチーム一丸となって頑張っております。

今後とも応援よろしくお願いします。

感動を有難う！



林 咲希さんと大上先生



近年の成績

- 平成二十八年年度 インターハイ出場（広島）
- 平成二十九年年度 インターハイ出場（福島）
- 平成三十年年度 インターハイ出場（愛知）
- 令和元年度 インターハイ（ベスト8）
- 令和二年年度 インターハイ（ベスト8）
- 令和二年年度 ウインターカップ（ベスト8）
- 令和二年年度 ウインターカップ出場

バドミントン部

顧問 宮内 早苗

昭和五十八年同好会としてスタートした精華女子高等学校バドミントン部は令和三年創部三十八年目を迎えました。前任の名将、浜司晃先生が勇退されその後を任される事となりました。浜司先生は赴任して二年目の時でした。浜司先生の後を引き継いで頂くという名誉とプレッシャーから更に十年の歳月が流れてゆくとしています。

かつて高校時代に富山県高岡女子高等学校（現高岡西）でラケットを握っていた私は、平成六年の富山インターハイでも精華の名を目にし、日本体育大学三年時では、全国選抜大会で母校が団体三位という成績を耳にする中、東京駒沢オリンピック公園体育館で日本一になったのは精華女子高等学校で

あると聞かされるのです。素晴らしい実績と、オリンピック選手を輩出した部活動の顧問となる旨を報告した、恩師である清水芳隆先生は、「大変な名誉であるし、お前に務まるのか、覚悟してやれ」と叱咤激励され、浜司先生からは、「過去は過去、生徒達一人一人活躍できる場所を作ってあげて下さいね」とお言葉を頂き、周りで支えて下さる先生方と共に今日まで活動させて頂き本当に感謝しかありません。

部員は現在三年生五名、二年生十六名、一年生七名で活動しています。初心者から始める生徒も半数以上を占め、自らバドミントン競技を選んで上達して行こうと日々努力を重ねています。令和二年のコロナ禍においては多くの大会が中止となる中私を含め部員達は学校生活や部活動、当たり前の日常がどれだけの尊いものなのかを改めて振り返ることができた年となりました。一人一人の目標を見直し、それに向かってやるべき事は何かあるのかを把握する事でバドミントンへ繋げる。校訓にもあります「自主協同」を実践し、自らの考えで動くことが出来る生徒へと成長していると感じております。



ソフトボール部

顧問 小磯 佑太

令和三年度で創部十周年を迎えたソフトボール部は、令和元年度福岡県高等学校総合体育大会ソフトボール選手権大会（インターハイ福岡県予選）で第三位となり、インターハイ福岡県予選では初めての賞状を頂きました。平成二十九年入学より部活動奨励生として入学して来た生徒が、三年間の練習の成果を発揮し、立派な成績を残してくれました。また、卒業にあたっては全員が自分の希望する進路に進むことができています。進学では四年制大学でソフトボールを続ける生徒、精華女子短大学に進学し、自分の夢に向かって突き進む生徒、また、就職においては、福岡県警察の試験に合格し、夢を実現した生徒など部活動だけでなく、高校の三年間で自己実現に励むことができてきました。

令和二年度は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、インターハイ県予選が中止となり、三年生にとつては悔しい結果となりました。また、国民体育大会も中止となりましたが、当時部長の山方朋佳（現九州産業大学スポーツ科学部スポーツ科学科）が福岡県代表選手として選出され、福岡県代表のユニフォームを着て活動を終えることができました。

現在は、部員三十八名で活動しており、「福岡県NO.1」を目標に日々の練習に励んでおります。立花寺グラウンドという素晴らしい環境の中で練習を行うことができ、また 令和三年

度からは新設された住吉グラウンドも活用できる為、充実した活動を行うことができています。部活動だけではなく、学校生活においても「全員がリーダー」を合言葉に人間の成長を目指して取り組んでおります。

これから自分たちが大好きなソフトボールを通して、大きく成長できたと思えます。





▲糟屋郡新宮町立花口

美味な「みかん」を作るにはみかんの木を一本一本見ながら二月中旬から剪定、有機肥料、消毒、草切り（除草剤を使わない）などを繰り返しながら六月から九月中旬までみかんの摘果を三回位します。九月下旬より「早みかん」「極早生」「早生」「普通温州」、その間には雑柑「ポン柑」「デコポン」の他、十種類位のみかんをちぎり、その間にも消毒、草刈りをします。

十月から四月にかけて自宅で作ったみかん、野菜、漬物、梅干、うりの粕漬、ポン酢。三月下旬から四月初旬までは家の山で採れた竹の子、落わらび、つわなど、地産地消をモットーに家の小屋で販売しています。毎年近所の方や福岡市内、遠くは北九州、筑豊の方々に買いに来て頂いています。



昭和三十八年卒
井上 末子

私のみかん園

【手作り保存食のご紹介】

●梅の漬け方

①六月の梅雨後直ぐに梅をちぎって洗い、直ぐ塩漬けし、一日一回ゆする

②その間数日かけて紫蘇を摘み塩もみし梅が馴染むまで冷蔵庫で保管する

③七月初旬から本漬け
八月上旬には美味しく頂けます
●らっきょう漬け

①らっきょうは洗って熱いお湯に一分漬け、打ち上げて乾くまで陰干しする

②らっきょう酢に漬け込む
一年位経っても力入りして美味しく頂けますよ！

●ポン酢

盆過ぎから九月十日位迄に摘果した温州みかんの酢を搾る
◎みかん酢一C ◎酢各一C
◎醤油二C ◎赤こしょう二本
◎カボス少々を混ぜ合わせる
※この他にも毎年色々手作りを楽しんでいます。

コロナ禍の中、この春喜寿を迎えましたが、田舎のきれいな空気と水、仲の良い友人に囲まれながら楽しく働けることを大変幸せに思っています、これから先も少しずつですが元気に頑張っていきたいと思っています。



進学先

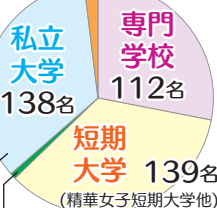
※現役全員合格・延べ数

国公立大学 8名

山口大学	1名
佐賀大学	1名
都留文科大学	1名
福岡女子大学	2名
愛媛大学	1名
長野県立大学	1名
岐阜県立看護大学	1名

私立大学 138名

立命館大学	1名
福岡大学	15名
中村学園大学	5名
福岡女学院大学	7名
西南学院大学	15名
ほか	



準大学(一次合格) 3名
防衛大学校 3名

令和2年度 進路状況

就職決定率

100% 12年連続

主な就職先

北九州市消防音楽隊・明月堂・リョーユーパン・加賀屋ホールディングス・ジェイアール西日本フードサービスネット ほか

希望者全員合格

2019・2020年度同窓会記念事業積立金収支決算報告書 (2019.4.1～2021.3.31)

【収入の部】 (単位:円)

費目	決算額
前年度繰越金	6,601,502
繰入金	2,000,000
受取利息	117
収入合計	8,601,619

【支出の部】 (単位:円)

費目	決算額
寄付金	7,595,390
次期繰越金	1,006,229
支出合計	8,601,619
令和3年度へ繰越金	1,006,229円

学校ロッカー	¥6,259,550
プロジェクター	¥1,155,550
記念樹(桜)	¥180,290

2019・2020年度同窓会室積立金収支決算報告書 (2019.4.1～2021.3.31)

【収入の部】 (単位:円)

費目	決算額
前年度繰越金	2,213,832
繰入金	500,000
受け取り利息	40
収入合計	2,713,872

【支出の部】 (単位:円)

費目	決算額
次期繰越金	2,713,872
支出合計	2,713,872
令和3年度へ繰越金	2,713,872円

以上、決算報告いたします。

令和3年 4月10日 精華女子高等学校同窓会 会長 萬 昭子
副会長 梅津由美子
会計 野田由貴子
監査の結果、相違なきことを認めます。
令和3年10月23日 精華女子高等学校同窓会 監査 久保 弘子
" 山村 光子

次回同窓会のお知らせ

2023年秋(予定)
会場／(未定)

決定次第、精華女子高等学校ホームページとハガキ等でお知らせ致します。

◆ご注意◆

学校や同窓会の名を使って依頼等の電話があるようですが、同窓会からお願いは必ず文書で行い、電話で行う事は一切ありません。

編集後記

コロナ禍の影響により、日常生活が一変し、外出自粛を余儀なくされ、臨時休校や学校行事の中止など大変な状況の中、寄稿頂いた先生方・OBの方、又、制作に携わって頂いた皆様、ご協力本当に有難うございました。
心より感謝し厚くお礼申し上げます。

発行 精華女子高等学校同窓会
住所 福岡市博多区住吉四十九ー一
電話 (〇九二) 四三二ー一四三四
印刷 株式会社インテックス福岡